

木もれ日 通信

K o m o r e b i T s u s h i n

第4号

平成13年3月
つきだて花工房発
季刊誌

〒960-0903 福島県伊達郡月館町大字下手渡字寺窪7
TEL024(573)3888 FAX024(573)3887
E-mail: hanakobo@safins.ne.jp
休館日/毎月第1、第3火曜日(休館日の前日は17時まで営業)

◎つきだて花工房は木もれ日のようなぬくもりと
やさしさを持ち続ける皆様の公共施設をめざします。

花のアルバム

福寿草

アルバムの
4ページ

「あつ、春が来た」と、感じる瞬間があります。うららかな陽の光、頬を撫でる風のやわらかさ、心躍る新しい季節の始まりです。大地も着々と芽吹き準備をしています。足元の春を見逃さないで...



雪を割って芽を出し、鮮やかな黄色い花を咲かせる福寿草は、春の訪れをいち早く告げる花として「報春花」とも呼ばれていたそうで、その柔らかな音に万葉の美しさと、春を待ちわびる昔の人達を思い出します。今年の福島の冬は、65年ぶりの大雪と、24年ぶりの寒波を記録。それだけに待ち遠しかった春を知らせてくれた福寿草の花言葉は「幸福を招く花」。昔から松竹梅とともに、正月の縁起物として欠かせない花です。



●農家のお正月

うららかな陽の光が冷たい大地を温め、空気にもたつぷりと春の匂い。さあ、いよいよ農作業がスタートします。春は農家にとってのお正月。今年の作付計画に合わせて野菜の種を播き、果樹の手入れや、田起こしが行われます。さて、私たちも春の庭仕事にとりかかりましょう！

●庭仕事をはじめましょう
植物は大きなパワーを持っています。普段、忙しさに追われ自分の時間がほとんど持てない日常生活...「疲れたなあ」。そんな時こそ是非とも庭仕事をお勧めします。植物を育て、その成長を日々見ていると、自然と元気がわいてきます。「土と植物を相手にする仕事は、瞑想するのと同じように、魂を開放させてくれるのです」(ヘルマン・ヘッセの言葉)

●ハーブを育てよう!

今回はハーブの種を購入しました。星型のかわいい花を咲かせるポリジ。ナスタチウムは種が大きく、植えるのが楽なので初心者にはお勧めです。トマトとの相性が最高のバジルは、夏のお料理に大活躍するはず。寒い冬を乗り越えたラベンダーやローズマリーもめきめき元気になり、そっと手を触れると、「うーん、いい香り!」。幸せはすぐ手に届くところにありますよ。



どこに播こうかな。(袋もとってもキレイ)

始まりの春。

出会いと別れが交差する春はひとつの分岐点。

スイセンの芽が顔をだし、小鳥たちがさえずる。

それだけで新しいスタートを応援してくれているみたい。

そんな自然の営みに感謝して…。さあ、始まりの春です

鹿沼よりようこそ

2月5日は大貫岳郎君の記念すべき1歳のお誕生日。岳郎君家族は仙台市にお住まい。お父さん知りさんのご両親は栃木県鹿沼市、



お母さん仁美さんのご両親は福島市にお住まいで、今回はその中間地点つきたて花工房がお祝いの会場となりました。岳郎君の背中には鹿沼のおばあちゃんが作ってくれたお餅が背負われ、みんなが見守る中、よちよち歩き岳郎君の「はじめの一步」です。そんな岳郎君を終始笑顔で見守る、両親じいちゃん、おばあちゃん（というには若すぎるみたい）が印象的でした。

鹿沼（栃木県）といえば、イチゴの産地。作付面積が547ヘクタールと全国2で、品種は「とちおとめ」と「女峰」。当日おすそ分けいただいた「とちおとめ」はとっても甘く美味しかったです。イチゴ狩りは5月の末頃まで楽しめるらしく、ゆつたりした雰囲気です。風味たっぷりの完熟イチゴが脳裏をよぎりました。

あっぱれ健ちゃん

2月18日、

春の陽射しを思わせる

穏やかな日

曜日、つきだて花工房

で「結婚を祝う会」が行われました。



新しい人生のスタートを歩み始めた14組のご夫婦の皆さん、おめでとうございます。

主催事務局の方から、千葉県から嫁いだ若いお嫁さんがいると事前情報をキャッチ。当日、長男・飛龍君と一緒に登場した森健一さん、亜希子さんご夫妻。奥さんの亜希子さんとはとても美人！「あっぱれ健ちゃん」と心のなかで叫びました。

「千葉から？」「はい、佐倉市です」と亜希子さん。「あそばね会で知り合いました。」と健一さん。とても礼儀正しく好印象のお二人でした。飛龍君をつれて、いつでも花工房に遊びにきてね！

※あそばね会は千葉県白井町の人々と、月館町の人々の交流の会。子供たちの夏休みキャンプをはじめ、最近ではゲートボールの親睦試合が行われるなど幅広い年齢層で、元氣な交流がされています。

それぞれの時代

昭和35年3月、月館中学校を卒業された3年4組のクラス会が、つきたて花工房でおこなわれました。以前はひとみ会でご利用いただき、60名を超える盛大な同級会でした。今回は若林（ぎゅうちゃん）先生の愛称）ルームで故郷へ集合です。東京月館会でもお馴染みの皆さんの顔もあり、私たちスタッフも一層うれしくなりました。

さらに楽しい情報入手。修学旅行で泊まった思い出の旅館、江戸島「石本楼」に集い、「40年ぶりの修学旅行」が実現するそうです。旅のコースは春爛漫の湘南海岸と鎌倉。東京ひとみ会の方が中心になつて準備中とのこと。さぞかし楽しい旅行となることでしょう。同じ季節、同じ時、そして同じ風景を共有して育った懐かしい友達、どんな人間関係とも違う特別な仲間のような気がします。季節は卒業のシーズン。卒業アルバムをめくりながら、それぞれの青春時代を思い出してみたいかがでしょうか。明日への新しい勇気が湧いてくるかもしれません。



ひとみ会3年4組クラス会 平成12年9月



卒業写真 昭和35年3月



月館保育園のおともだち

31人：隣の幼稚園に通う、2人のお友達を
加えて31人の新入生です。今回ご紹介
できます。ごめんなさい。

輝く未来と、大いなる希望に向か
つてはじめての一步を踏み出したばかり
の子供たちへ…。今のまま明るい瞳と、
清らかな心を持ちつづけてください。
月館町には楽しい宝物がいっぱいで
す。夏休みには魚捕りや昆虫採集も
できるし、さらさら輝く星空はいつも
あなた達を見守ってくれるでしょう。
やさしいおじいちゃん、おばあちゃん
はみんなのが大好き。だからみんな
もやさしくなれる。さあ、ピカピカ
の1年生。背筋を伸ばして、元気に仲
良く学校へ行こう！きょうれしい
ことが待っている。

子供たちへ

祝・入学！ もうすぐピカピカの 一年生、31人



月館幼稚園のおともだち



講師の和田恵秀先生は、「大人の
持つ良識や常識、プライドを捨て、子
供の心に戻って絵を描こう」と常に
おっしゃいます。一枚のはがきと向き
合う時間が、新しい発見や、自然への
感動を与えてくれ、あなたの心を豊
かにしてくれることでしょう。

やっぱり何か始めなきゃ！
年度替わりのこのシーズン。新入生、
新入社員ならずとも、気分をリフレ
ッシュしたくなるのでは？新しいこと
を始めるにはふさわしい節目の季節。
やっぱり何か始めなきゃ！
**絵手紙教室も
新学期がはじまります。**
前回の絵手紙教室は、昨年の10月
から12月にかけて5回コースで行われ、
国見町、霊山町からも受講者があり、
絵手紙を通じて楽しい交流がで
きました。皆さんの作品は花工房のロ
ビーに展示してあり、お客さまから
も大盛況。「次回は私も！」との声
も多く、4月から新学期が始まりま
す。

月館の春を採しに。

山菜との遭遇

[フキノトウ編]
ふきの花のつぼみ。春の香りの一番手。山の中
に入らずとも田んぼの土手や道ばたなど、身近
な所で遭遇できます。独特の芳香とほろ苦みが
特色です。花が咲くと苦みが強くなるので若
草色のつぼみのうちに摘み、生のまま刻んで味噌
汁に浮かべたり、天ぷらなどに。ふき味噌にして
瓶に保存すれば一年中春の味覚が楽しめます。

[ワラビ編]
春の山菜の代表。日当たりのよい原野や山の斜
面からツツツと顔を出しています。アクを抜い
てから胡麻和えやおひたしに、山菜独特の自然
の旨味を楽しみましょう。塩漬にして保存食にも。

[タラノメ編]
山野に自生するたらの木の若葉で、一番人気
の山菜。おいしいタラノメ(の木)には大量のト
ゲがあり、軍手等で完全武装が必要。5~15cm
くらいのコロコロした若芽を根元から握って折り
取ります。過剰な採りすぎは翌年の収穫に大き
な影響を及ぼします。やっぱり天ぷらが一番！





春の思い出編
つきだて旅日記
平成24年4月

もちぐさ摘み
埼玉県 丹沢 良子様

埼玉から友人と共に信夫山、花見
山の桜を愛でる一泊の旅に出かけま
した。宿は、第二のふるさと「つきだ
て花工房」。桜の花も三分咲き。旅の
疲れ、をあの素晴らしい笑顔の皆様
にお出迎えされ、私も3人の友人も
大喜びです。

春深いつきだて花工房の山、庭を
散歩。大自然のおいしい空気を胸いっ
ぱい吸いこんでいると、誰にも見つか
っていない場所に、まだ芽吹いたばかり
のおいしそうなお草がありました。
誰とはなしに摘み始めていました。

時のたつのを忘れ、一心に摘んだもち
草の香りに酔いしれて、頭は草もち
のことでいっぱいになりました。

埼玉に帰り何よりも先に、月館町
のもち草で草もちをつくり、早速食
べました。それはそれは、ほつべのおち
る美味しさでした。春の香りいっぱい
の草もちは、福島の実家にも送り、
妹に花工房へも届けてもらいました。
その草もちが、葉書大の草もちとス
タッフの方々に言いくさになつてい
るそうですね。なだらかな山並み、小
さい頃の思い出がいっぱいある月館町。
あそこ「つきだて花工房」に行くとう
れしくなつてしまふのです。今年も
春を探しに出かけてみたい…。そう、
もち草の芽が出る頃に。

Hana

「こもれび」インタビュー のぼさんが運んで くれた風

「はなくらぶ」は皆さまとつきだて花工房をつなぐページです。お便り・情報など何でもお気軽にお寄せください。お便りお待ちしております。

遊びうたの天才、福尾野歩さんが月館町にやってきました。人口4800人の町に500人が大集合。月館町に新しい風を運んでくれた「のぼさん」といっしょにあそばねかいコンサート。実行委員長の渡辺里加さんにお話を伺いました。

Q 大きなイベント、大成功でしたね。

A はじめてのことばかりで不安はいっぱいでしたがいろんなサークルの人や、たくさんの方の協力で楽しいコンサートになり、本当に本当に感謝しています。

Q 町外からのお客さんも多かったと聞きましたが。

A 一枚目のチケットは仙台市の紺野さんが購入。わざわざ月館までの道のりを調べながら、チケット代を届けてくれました。うれしかった。勇気が出ましたよ。遠くは広島県から。青春18切符で見に来てくれました。

Q 会場は熱気でムンムン。お父さんたちもステージで踊ったそうですね。

A えっ！あのお父さんが？意外なお父さんが、汗をいっぱいかいて踊って

るんです。それを見て子供たちはとつてもうれしそう。月館で子供と大人が一緒に楽しめるコンサートを…を合言葉にがんばってききましたが、そんなお客さんの姿を見て、胸が熱くなりました。のぼさんって、本当にすごい！

Q どうしてのぼさんコンサートを行おうと思ったのですか？

A モノが豊富になった今、子供たちにはもともとたくさんの人とふれあい、豊かな心をもってもらいたい。遊びを通してもっと感じる心を持つてもらいたいと思います。のぼさんの歌には、その感動がいっぱい詰まっている。「みんなにもゼッタイ見てもらいたい！」その心でした。

Q 感動がいっぱいでしたね。

A 「やろうやろう」ではできないことも「やる」に変われば大きな力になる。それを実感したコンサートでした。人と人との出会いの素晴らしさに感激。のぼさん、そしてお世話になった皆さん、ホントにありがとうございます！



のぼさん達をお見送りに花工房へ集合。また来てください！

●のぼさんのホームページで月館町のコンサート報告発信中！

お便りコーナー

お 友達から綿の種をいただき、12月に実ができました。よろしかったら種をお分けしましょうか？
(寺田フサ子様・逗子市)



花 花工房の絵手紙教室も好評で第2期生募集中。寺田さんもいつかご一緒できたらいいですね。綿花は聞いたことはありますが、実物を見たことがありません。逗子の綿花が花工房でも育つたら…と考えると、うれしくなります。次回月館にお越しの際、寺田さんご自身で種を植えていただければ、記念になり更うれしいです。

新

年々ご次期旅行の打ち合わせがゆつくりと過ごさせていただき、会員一同大満足でした。終始笑顔のご接待、加えて嬉しかったことは、内容豊富な美味しいお料理にいろんな話題が飛び交い、それはそれはとても楽しい食事風景でした。(みちづれ愛行会様・保原町)

花 オープン当時からのご愛顧、さらには身に余るお便り、本当にありがとうございます。これからも「二期一云」の心を忘れることなく、お越しいただくお客様が幸せな気分になつていただけるよう、スタッフ一同よりいっそう努めてまいります。

ムーンセミナー 絵手紙教室

自分自身と向き合う時間
【日程】
4月23日(月) 5月14日・28日(月)
6月11日・25日(月)の全5回コース
【受講料】 5千円(5回分)
【時間】 午前10時から
【講師】 和田恵秀先生
つきだて花工房フロント又はお電話でお申し込みください。
TEL024(573)3888
つきだて花工房ムーンセミナー係

こもれびニユイヤープレゼント 「千支組み木」当選者発表

速水宏治様(富山県・川津知佳子様(千葉県)・大友実則様(千葉県)・寺田フサ子様(神奈川県)・大森弘視様(東京都)・齋藤英子様(保原町)・鈴木啓二様(安達町)・渡辺かね子様(月館町)・齋藤二子様(月館町)・桑島照子様(月館町)
以上の皆様、当選おめでとうございます。

INFORMATION インフォーメーション

●つきだて花工房5月の休館日について
5月15日(火)・29日(火)は休館日となります。なお、5月1日は通常通り営業いたします。
●いっしょにひまわりを植えませんか。
今年2万1千本！
日程 6月9日(土)8時集合
場所 つきだて花工房下の空地
お問合せ先 つきだて夢楽校
高野様宅TEL024(572)2964
●つきだて夢見の郷土地分譲中
4月より第二期分譲開始。
1区画平均130坪
坪単価3万8千円、
お問合せ先 役場企画課
TEL024(572)2111



つけたお花の感謝！
つぎの恵みに
みまわりの
ためにお返し
はじめさせていただきます。
記念の大地

編集後記

「春は足元からやってくる」を実感したはじめての若菜摘み。雪が残るたんぼの畦をぎゅぎゅと歩くと、日頃の運動不足がたたり転倒また転倒。「トホホ…」と思いきや「おっ！」南斜面にふきのとうを発見！大地に芽吹く、神秘的な命との遭遇になぜか無口になり、大切に守りたい自然の営みを感じました。

早速食したふきのとうは、春の香りがたっぷり、この上ない贅沢に大満足。次回は「天ぷらの王様、タラの芽に会いたいなあ」と心わくわくする春、やっぱり私づく、いしんぼう。(佳代)

ムーン 月の明りで疲れた 心を癒したい。 セラピー

いますぐカレンダーにチェック!!

【新月の夜】	【満月の夜】
3月25日(日)	4月 8日(日)
4月24日(火)	5月 7日(月)
5月23日(水)	6月 6日(水)